

# バイオマスエネルギー施策について (経済産業局)

平成 1 9 年 8 月

九州経済産業局  
資源エネルギー環境部  
エネルギー対策課

# 新エネルギー関連支援フロー（太陽光、風力、バイオマスエネルギー等）

## 一般的な導入フロー

**地域新エネルギー計画の策定**  
 ・ 地域特性の把握や分析  
 ・ 個別プロジェクト計画の策定など

**低コスト化、効率向上のための技術開発**

**事業導入及び事業化の検討**  
 ・ 導入計画      ・ 財源の検討  
 ・ 事業方法      ・ 実証試験 など

**事業化の判断**

**設備導入**  
 ・ 設計、設置工事 など

**供用開始**

## 主な支援制度

### 地域新エネルギービジョン策定等事業（NEDO）

地域に賦存する多様なエネルギーの発掘、環境と調和した街づくりの方向性に関する検討など、地域の活力向上に資する計画を策定する地方公共団体に対し、事業費を補助。（補助：定額、地方公共団体向け）

H18予算額：17億円 ⇒ H19内示額：13億円

### 新エネルギー技術研究開発事業（NEDO）

#### ○新エネルギーベンチャー技術革新事業

世界的にもベンチャー企業による太陽光発電、新型風力発電、燃料電池、バイオ燃料分野等におけるイノベーション活動が活発化していることを踏まえ、詳細目標設定・多段階選抜型の米国SBIR制度を参考に特定のキーテクノロジーに対するベンチャー企業のチャレンジを強力に支援する制度を創設する。

#### ○新エネルギー技術革新事業

太陽光、風力、バイオマスなど新エネルギー分野でのイノベーションを促進すべく、次世代有望技術を含む技術開発を支援する。

H19内示額：46億円（新規）

### 新エネルギー技術システムフィールドテスト事業（NEDO）

2010年度の新エネルギー導入目標達成に向け、新技術を活用した太陽光発電及び太陽熱利用システムの有効性の検証、バイオマス熱利用システムの性能・経済性等の検証、風車立地に必要な高所の風況データの収集・解析など総合的な新エネルギーフィールドテストを実施する。

H19内示額：108億円（新規）

### バイオマス等未活用エネルギー事業調査事業（経済局）

バイオマス等地域に賦存する未活用な資源をエネルギーとして有効活用するため、事業可能性調査を実施する地方公共団体、事業者に対し、事業費の一部を補助。（定額：補助上限1千万円/件）

H18予算額：3億円 ⇒ H19内示額：3億円

### 地域新エネルギー導入促進事業（NEDO）

地域において新エネルギーの大規模・集中導入等モデル的、先進的な取り組み等を行う地方公共団体等に対し、事業費の一部を補助。（補助：1/2）

H18予算額：52億円 ⇒ H19内示額：45億円

### 新エネルギー事業者支援対策事業（資工庁、経済局）

新エネ法に基づき認定を受けた計画に従って新エネルギーを導入する先進的な事業者に対し、事業費の一部を補助。（補助：1/3）

H18予算額：353億円 ⇒ H19内示額：316億円

|                |  |
|----------------|--|
| 事業名            | バイオマス等未活用エネルギー事業調査事業（補助事業）<br>（事業開始H15年度～）   |
| 目的             | バイオマス及び雪氷熱のエネルギー利用に係るデータの収集・蓄積・分析を行い、ノウハウ・データの蓄積などにより、今後のバイオマス等未活用エネルギーの本格的な導入を促進させ、新エネルギー導入目標の達成ひいては、石油代替エネルギーの開発及び導入促進に資する。  |
| 助成対象           | 一般枠：地方公共団体、民間企業、第3セクター、公益法人、NPO法人等<br>バイオマスタウン枠：市町村  |
| 制度内容           | <p>○対象事業<br/>データ等の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ バイオマス、雪氷の賦存量調査、収集・運搬に係る経済データ、社会システム上の特質・課題等。</li> <li>・ エネルギー変換システムの変換効率、環境特性、運用パターン等の運転特性に関わるデータ、運転経費、保守経費等の経済データ、経年劣化等データの特質・課題等。</li> <li>・ エネルギー利用に関する利用率、利用方法等に関わる運用データや外部供給とのコスト比較データの特質・課題等。</li> <li>・ 地域住民との連携に関わる現状や課題。</li> </ul> <p>○対象システム</p> <p>① バイオマスエネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 溶融ガス化等熱化学的変換技術による燃料化システム</li> <li>・ メタン発酵等生物化学的変換技術による燃料化システム</li> <li>・ 直接燃焼による熱利用システム など</li> </ul> <p>② 雪氷熱エネルギー</p> <p>○対象経費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人件費（研究・調査員人件費及び補助人員人件費）</li> <li>・ 調査費（バイオマス等エネルギーシステムに係る事業調査費等）</li> <li>・ 諸経費（委員会を設置する場合の諸経費や報告書作成費等）</li> </ul> <p>○補助率<br/>定 額（限度額：1,000万円）</p> |
| 所管省庁<br>（申請窓口） | 九州経済産業局資源エネルギー環境部エネルギー対策課<br>TEL 092-482-5475  |
| 活用事例           | <p>15年度：新日本製鐵(株)、(有)カバヤ、大分新電力(協)、知覧町、長陽村</p> <p>16年度：玉名製材(協)、大口市、西日本環境エネルギー(株)、名瀬市</p> <p>17年度：鳥栖環境開発総合センター、(有)アグリハート、(有)山下商事、I社(株)</p> <p>18年度：(株)エコー、(株)TRES、日鉄環境エネルギー(株)、(株)日本総合研究所、築上町、南阿蘇村</p> <p>19年度採択者：アグリハート(株)、出光興産(株)、唐津水産加工団地(協)、霧島酒造(株)、電源開発(株)、南九州クリーンエネルギー(株)、宮崎県経済連、熊本市、立花町</p>  |

平成19年度「バイオマス等未活用エネルギー事業調査事業」採択者一覧表

【九州経済産業局】

| 事業者名             | 採択枠       | エネルギー種別 | バイオマス資源の種類           |      | 事業の名称  | 調査対象地域                                   | 事業概要   |
|------------------|-----------|---------|----------------------|------|--|--|--|
|                  |           |         | (主)                  | (従)  |  |  |  |
| 福岡県立花町           | バイオマスタウン枠 | バイオマス   | 木質(竹材)               |      | 立花町における未活用竹バイオマスの利活用事業調査   | 福岡県立花町全域                                 | 立花町内に豊富に存在する竹材(間伐竹)を利用したボイラー燃料(竹チップ)を製造し、福祉センター、園芸施設への竹チップボイラー熱供給による施設内の暖房や給湯及び温浴施設を加温する事業に関する事業可能性調査  |
| アリアケジャパン株式会社     | 一般枠       | バイオマス   | 含油スカム燃料化残渣・余剰汚泥      |      | 天然調味料製造工場・含油スカム燃料化残渣及び余剰汚泥からのバイオガス燃料化とゼロエミッション化事業調査                  | アリアケジャパン(株)九州第1(長崎県佐世保市)及び第2(北松浦郡佐々町)工場内 | 自社工場の製造排水から排出される含油スカム等をバイオガスに変換・蒸気用ボイラー燃料として利用。また、発酵残渣脱水ケーキを有機質肥料として地域内契約農家に循環利用。余剰乾燥品は、バイオマス・エコ燃料としても利用し、同一地域内でのバイオマス収集・回収エネルギー活用する低コストのバイオガス燃料化とゼロエミッション化システムに関する事業可能性調査 |
| 熊本県熊本市           | 一般枠       | バイオマス   | 生ごみ                  |      | 生ごみ分別収集・エネルギー化可能性評価検討事業  | 熊本市内                                     | 熊本市内の生ごみ(生活系)の分別収集(モデル地区440世帯を選定)して、バイオエタノール化・リサイクル処理化することにより新エネルギーの創出と焼却施設の延命化を図る等に関する事業可能性調査   |
| 出光興産株式会社         | 一般枠       | バイオマス   | 畜糞、生ごみ               |      | 九重町におけるバイオガス燃料の供給ビジネス事業化の可能性調査事業                                     | 大分県九重町                                   | 大分県九重町の豊富な地熱を利用した小規模バイオガスプラントを設置することを想定し、家畜糞尿・生ごみから発生するバイオガスは全量を精製し、コジェネレーション燃料、九重町の公用車並びにポンペに圧縮充填し、町内の病院、レストランなどのエネルギー需要家へのガス燃料として活用するシステムに関する事業可能性調査                     |
| 電源開発株式会社         | 一般枠       | バイオマス   | 農畜林水産系、建築系、食品系、下水等汚泥 |      | 石炭火力発電所を活用したバイオマス資源の利活用推進事業  | 長崎県周辺地域(松浦/松島火力を中心とした半径100km圏内程度)        | 長崎県内に立地する石炭火力発電所での混焼を利活用先とし、バイオマス資源の効率的収集、運搬、燃料化(炭化等)、石炭火力での混焼による未利用バイオマス資源のエネルギー利用システム構築に関する事業可能性調査   |
| 宮崎県経済農業協同組合連合会   | 一般枠       | バイオマス   | 木質・草本                |      | 県内木質系、草本系バイオマスを用いたガソリン添加用エタノールの製造事業及び木質バイオマスを用いたペレット製造に関する事業化可能性調査事業 | 宮崎市近郊の山林・耕作放棄地                           | 宮崎市近郊の山林・耕作放棄地より発生するバイオマス資源を利用し、県内流通用ガソリン添加用としてエチルアルコールの生産、また、施設園芸用ビニルハウス用加温機用燃料として木質ペレットの製造に関する事業可能性調査  |
| 唐津水産加工団地協同組合     | 一般枠       | バイオマス   | 水産加工残渣、排水汚泥          | 廃食用油 | 水産加工残渣等バイオマス活用エネルギー化事業   | 唐津水産加工団地(水産関係企業26社…佐賀県唐津市)               | 水産加工残渣の固液分離後の固形物分を飼料化、魚油をボイラー燃料として活用し、余剰分を天ぷら用油の廃油とともにBDF化するとともに、離脱液を水産加工排水汚泥と混合しメタン発酵後、ガスを有効利用し、水産加工団地内の地域循環型社会の形成に関する事業可能性調査   |
| 南九州クリーンエネルギー株式会社 | 一般枠       | バイオマス   | 木質                   |      | いろはの湯における木質バイオマス利活用調査事業  | 鹿児島市東開町、鹿児島市吉田町                          | 木質チップボイラーを使用した、直接燃焼による熱(温水)供給システムに関する事業可能性調査   |
| 霧島酒造株式会社         | 一般枠       | バイオマス   | 廃食品他                 |      | 甘藷・生ゴミ利用総合的自立型燃料用バイオエタノール生産システムFS(環境性・経済性考慮)                         | 宮崎県・鹿児島県                                 | 焼酎製造工程から発生する規格外品等甘藷から99.6%燃料用エタノールを製造、産廃系・都市系収集系の廃食用油からバイオディーゼル燃料を製造し、プラントエネルギーとして利用し外部エネルギーを必要とせず環境・経済性で自立するプラントに関する事業化可能性調査  |